



謹んで新年のごあいさつ申し上げます

各地区会員の皆様、県教職員課・総務福利課の皆様、福利厚生団体関係者の皆様、旧年中のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。今年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

コロナウィルス感染症により、社会生活が大きく変わり、感染症以前の営みとは異なる状況となりました。次々と生まれる変異株の拡大は、人々が対面で関わることを難しくし、どのように想いを伝えればよいか考えさせられます。

わたしたち「学校事務職員」は、学校が子どもたちにとって安心して学べる場であり続けることに力を発揮すべきであり、そのために同じ仲間（職種）と繋がるのが大切であると考えています。本会の目的である「会員相互の親睦と緊密な連携をもとにし、学校事務職員としての資質並びに社会的地位の向上を図り、持って本県の教員の振興に寄与すること」を今一度考える時期だと思えます。

今年も支援室や市町村・各地区の学校事務職員会等で、情報共有・連携が進められるように本会の事業も着実に進めて参りたいと考えております。様々な制約や状況の急変も充分予測されますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

まだまだ寒い時期が続きますが、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

県事協会長 寄井田 雅裕



謹賀新年

第3回評議員会報告

11月25日（木）県教職員互助組合会館にて、第3回評議員会を開催しました。

冒頭に会長が「県事協は、情報の共有、全県的なつながりをはかることを目的に、各地区の連合体としてスタートした。その頃にしばらくのあいだ携わって以来、久しぶりに諸事業・業務の状況を見てみると、相当緻密にやられている。しかし、そういった事業も、各地区の同意・協力なくして運営していくことはできない。次年度の計画の他、討議していただきたい課題もある。限られた時間ではあるが活発な議論をお願いしたい。」とのあいさつを行い、評議員会において議論することの大切さをお伝えしました。

協議では、まず、今年度の事業計画の進捗について、県費事務改善検討委員会のマニュアル等更新作業状況、現状報告会の総括、マニュアル更新に伴う印刷サービスや県事協CD整備の計画等を報告し、質疑応答・意見交換を行いました。

次に、次年度の事業計画について、基本的に今年度事業を継続する方針で策定を進める旨、説明いたしました。評議員の皆様からは、理事を始めとした役員への負担軽減をすべきではないか等、様々なご意見をいただきました。中でも、現状報告会については、開催することの重要性と、発表地区や運営に携わる役員等の負担のバランスについて活発な議論がなされましたが、次年度は今年度並のかたちで計画を進めることになりました。こういった真摯な議論の結果を、3月評議員会で提案する計画策定に生かしてまいります。

最後に、次年度予算編成について、今年度の執行状況、次年度事業計画を踏まえ、一人あたりの会費を年額1,450円とする予定であることを提案いたしました。特に異論は出されませんでしたので、提案した内容に沿って予算編成を進めていきます。

今回の提案等について、各地区で協議・検討していただければと思います。

活動経過及び予定

11月25日	理事会・第3回評議員会
12月24日	ホームページ更新
1月14日	理事会・第3回常任委員会
2月下旬	県事協マニュアル等学校到着予定
3月11日	理事会・第4回評議員会

こんにちは、日置市事務職員会です

日置市は、県の西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、東は県都鹿児島市に、北はいちき串木野市と薩摩川内市に、南は南さつま市に隣接し、西は日本三大砂丘の一つ、白砂青松の吹上浜と東シナ海に面しています。また、妙円寺詣りや流鏝馬、せっぺとべに代表される歴史的な伝統行事に、薩摩焼や優れた泉質を誇る温泉など、古の情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を数多く有しています。これらの資源を活用しながら「住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれるまち ひおき」をめざします。

現在の日置市の学校数は、小学校14校、中学校6校、義務教育学校1校で、23名の事務職員で編成されています。



© ot-haki-hakohkun
日置市イメージキャラクター
「ひおきくん」



支援室の状況としまして、伊集院A（伊集院小・伊集院中・飯牟礼小・日吉学園）、伊集院B（妙円寺小・伊集院北小・土橋小・伊集院北中・土橋中）、吹上（和田小・花田小・伊作小・永吉小・吹上中）、東市来A（鶴丸小・湯田小・伊作田小・東市来中）、東市来B（上市来小・美山小・上市来中）の5つの支援室で構成されています。

事務職員会の活動として、年6回実施される研修会で、事例研修や共同実施の状況報告、事務指導や定期監査等の情報を共有しています。研修会では、教育委員会総務課と所管事項のすり合わせを行っており、事務職員会全員が総務課との意見交換を闊達に行っております。

また、本年度日置市初の義務教育学校が令和3年4月1日より、日吉小と日吉中を合併統廃合し日吉学園がスタートしました。小中合わせて15クラス(特別支援学級を含む)で262名の児童生徒が仲良く過ごしています。

日置市財政の特徴として、令和3年度より10万円未満(机・椅子以外)が消耗品扱いになりました。

鹿児島市のお隣ということで、通勤時間も短く住みやすい町です。若手の事務職員の皆様も、ぜひお越しください。(ベテランが多いです)

南さつま市小・中・義務教育学校事務職員協議会の紹介

南さつま市小・中・義務教育学校事務職員協議会
(報告者 内山田小 星崎)

南さつま市小・中・義務教育学校事務職員協議会は小学校11校，中学校4校，義務教育学校1校の事務職員16名で構成されています。

年6回の全員参加の研修会(5回の半日日程・1回の1日日程)，年2回の役員と各支援室代表者が参加する代表者会(研修会運営の協議)を行っています。

2018(H30)年度からは，情報収集班と研修班の2つに分け，各班で課題を設定し，全体で共有する運営の工夫をしています。

また，会員から集約した質疑・意見等を基に，年1回市教委と意見交換会を実施し，少しでも会員が事務処理をやりやすいように，疑問点等の解消や市教委との良好な関係性を継続できるように取り組んでいます。

支援室は，4つの支援室があり，下記の様な構成になっています。

(加世田北)・・・拠点校①加世田中・連携校(②加世田小③川畑小④内山田小⑤長屋小)
(加世田西)・・・拠点校⑥万世小・・・連携校(⑦益山小⑧小湊小⑨万世中)
(大笠・坊津)・・・拠点校⑩大笠中・・・連携校(⑪笠沙小⑫大浦小⑬坊津学園)
(金峰)・・・拠点校⑭金峰中・・・連携校(⑮田布施小⑯阿多小)

今回の記事掲載にあたり，統合の動きがあった2009(H21)年度ごろから調べてみました。2009年度は30校ほどあったようです。閉校・開校等で現在は上記の支援室を構成している16校になっています。2009年度からの推移を記載しておきます。

2009(H21)年度末	坊泊小・久志小・清原小・栗野小閉校→坊津学園小(2010(H22)年度開校)へ統合 坊泊中・久志中閉校→坊津学園中(2010(H22)年度開校)へ統合 津貫中閉校→加世田中へ統合
2012(H24)年度末	大浦中・笠沙中閉校→大笠中(2013(H25)年度開校)へ統合 大坂小・大田小・白川小閉校→阿多小へ統合
2013(H25)年度末	赤生木小・玉林小閉校→笠沙小へ統合
2014(H26)年度末	久木野小閉校→加世田小へ統合
2015(H27)年度末	津貫小閉校→加世田小へ統合
2016(H28)年度末	坊津学園小・坊津学園中閉校→坊津学園(2017(H29)年度開校)へ統合

今後，田布施小，阿多小，金峰中が統合され，義務教育学校金峰学園が開校(2023(R05)年度)される予定です。それに伴い，支援室の構成や協議会・研修会の運営も変更の必要がでてきます。会員みんなで協力しながら，より良い方向へ進むために知恵を出し合っていきたいと思います。

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

鹿児島県福祉事業連絡会とは、教職員のための福利厚生事業を行っている、下記の5つの団体に構成する連絡会です。

- ☆公立学校共済組合鹿児島支部
- ☆鹿児島県教職員互助組合
- ☆鹿児島県教職員共助会
- ☆鹿児島県学校生活協同組合
- ☆教職員共済鹿児島県事業所

教職員の皆様が、学校・職場で安心して働くために、ご自身の健康管理や病気をした場合の給付、冠婚葬祭時のお祝い金や弔慰金、人生の将来設計のための各種保険（共済）などの福利厚生事業を行っています。

一般財団法人 鹿児島県教職員互助組合



住 所：鹿児島市照国町11-35
電 話：099-225-4555 FAX：099-222-7750

- 退職を予定されている先生方へ
退職すると現職組合員としての資格を失いますが、継続組合員として互助組合の事業を利用できる退職教職員互助制度（退教互）があります。
なお、退職時には、退職生業資金の給付及び積立金の還付があります。給付等の請求及び退教互への加入には、手続きが必要です。
- 「山の家・海の家」の利用状況
現職者の利用泊数は、大人1141泊、小人316泊でした。また、来年度に向けて、組合員の利便性向上のため、新規施設との契約を検討しています。
- 特別保養施設利用補助
45歳または55歳になる組合員および昨年度該当者で新型コロナウイルス感染症対策により延期申請された方が対象です。今年度も、申請により2022（令和4）年度末まで、利用期間を延長できます。
- 組合員特別給付金
組合員期間が10年以上で、50歳に達したときまでに、結婚歴・出産歴のない組合員に、50,000円を給付します。請求期限は3年間です。53歳の誕生日の前日までが請求期限となります。
- 貸付保証保険料及び貸付利率の改定
 - 貸付保証保険料（2021年7月1日から）

住宅資金	年0.34%
その他の資金	年0.30%
 - 貸付利率（年率）（2022年1月1日から）

生活・結婚資金・自動車・住宅・教育・医療・高額医療	年1.00%
---------------------------	--------



学校生協からのご挨拶



新年おめでとうございます。
今年も学校生協、教育用品を
よろしく願いいたします。

県事協の会員の皆様方には日ごろから大変お世話になっております。

新型コロナウイルスも新しい変異株で新たな展開を迎えようとしています。ウイズコロナが目前でしたがどんどん変異するウイルスから、ウィズコロナの時代を迎えることができるのか不安になってしまいます。なかなか学校を訪問して生協事業を説明できない状況が続いています。毎月の福利厚生事務センター便に封入する生協だよりで情報を発信していきますので校内の先生方への情報提供もよろしくお願い致します。

令和4年の学校生協は住宅所得促進事業の広報をしっかりやりたいと考えています。お家を建てたい、リフォームしたいという先生方に学校生協を利用して特典を得て住む環境を充実していただきたいと思います。また、ミズノ商品も年間を通した商品の案内、共同購入もキャンペーンの実施など組合員が利用して良かったと実感できる事業を展開していきます。それらの情報はいつでもどこでも見られるようにスマホ対応のホームページで発信していきます。福利厚生事務センター、教育用品ともどもよろしくお願い致します。

編集後記

新年を迎えても出口の見えないコロナ禍……。これ、1年前と同じ書き出しです。弱毒化云々を言われていますが、重症化リスクが消失したわけでもなく、感染者数が増えれば、医療機関の対応能力を超えてしまう恐れがあることには変わりありませんね。まだまだ油断せずに過ごした方がよさそうです。もうひと踏ん張りであることを願いつつ。そんな浮かない空気の中ですが、今月は昇給月ですね。人事評価制度のA・B運用(Aは+2号、Bは+1号)が始まって2年目。我々学校事務職員は、その結果を目にせざるを得ないのですが、心がざわざわしてしまうのは私だけでしょうか？ プラスがなくて悔しいとか、あってニヤニヤするとかならまだしも、なぜあの人よりも…といった「人間だもの…」だけではしまい込めない懊悩が、この制度の負の部分なのかなあと、空を見上げつつ考える今日この頃の私であります。 國